

# 支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

1月号 2013.1.1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会  
〒273-0021 船橋市海神 5-18-11 遠山方  
TEL/FAX 047-431-5065

<http://www.marrows.or.jp/chiba/>

新年の挨拶 ～2012年の感想と2013年を迎えて～

2012年の千葉の会の活動では、①7年ぶりの会報復活 ②初開催の「ちばアクアラインマラソン」での骨髓バンク普及啓発活動 ③そごう千葉店でフルセットでの「あやちゃんの贈り物展」の開催が、私としてのベスト3で、その他にも会員の皆さんとともに精力的に献血併行登録会や普及啓発活動をしてまいりました。

しかし、2012年12月5日に中村勘三郎さんがお亡くなりになるという悲しいこともありました。中村勘三郎さんは、1998年のキングフィールズCC、1999年の成田白鳳CC、で千葉の会主管（全国協議会主催）で開催した「勘九郎（当時の名）杯・骨髓バンクチャリティーゴルフ大会」に2年連続してご家族と一緒に参加下さいました。コースのご案内等お世話をさせて頂きましたが、とても気さくで気配りのある方で、チャリティーも盛況でした。心からご冥福をお祈り致します。

2013年も、会員の皆さまと力を合わせて、骨髓バンク支援活動に取り組みますので、皆さまのご支援を宜しくお願い致します。（会長 梅田正造）

## 千葉そごうパネル展

10月30日～11月5日まで、千葉県の後援を得て、そごう千葉店様のご協力、地下ギャラリーにおいて、「いのちの輝き展～あやちゃんの贈り物～」を開催しました。

70点ものフルセットを展示できる広いギャラリーでパネル展ができ、たくさんの方々に関心を持って、見ていただけましたようです。パネル付近に置いていたチャンスも多くの来観者が持ち帰って下さり、意識の高さに感激しました。（西島一恵）



## ちばアクアラインマラソン

10月21日（日）に第1回ちばアクアラインマラソンが木更津市、袖ヶ浦市において開催され、この大会に当会も機会を得てPR活動をしました。

きっかけは、当会（西島さん）の働きかけで県の実行委員会の了承を得るところから始まりました。

木更津市、袖ヶ浦市への挨拶回り、ルートの下見などをし、最終的に木更津市のスタート・ゴール地点と給水所と応援席のある袖ヶ浦市「ゆりの里」の2ヶ所に分かれてPR及び応援することにしました。PRは、幟旗にチラシとキティティッシュの配布（袖ヶ浦では、風船配布もあり）を実施しました。

当日は、晴天にも恵まれ、1万人のランナーも気持ち良く走っていました。

私たちが第1回目なので、気楽に参加しましたが、選手たちの熱気と地元応援団の熱い声援には驚かされました。今回のPR活動では、ドナー登録の申込はしていませんでしたが、4名の問い合わせがありました。何か行動すれば、何かしらの成果も出てくることを実感し、充実感とともに引き上げました。

第2回はあるのかな・・・？（円東）

## パネル展開催告知

- ・東京学館船橋高校 吹奏楽定期演奏会会場 平成25年3月23日（土）流通経済大学新松戸講堂
  - ・そごう千葉店 平成25年4月23日（火）～29日（月祝）
- [嬉しいお知らせですが、そごう千葉店は、お客様からの評判が良く再度開催となりました。]

## 献血併行ドナー登録会

イオンモール千葉ニュータウン店 10月14日(日)

献血会場は、イオンモールの3階にある広いホール内で、登録説明は献血受付の隣に机を配置していただき、日赤さんは、献血者1人1人に丁寧にお声をかけてくださいました。

日赤さんでは10名の登録者を目標にされていたようで、1名不足で残念がっておられ、とても心強く、うれしく思いました。

一緒に活動をした山本さんは、会場まで自転車で40分掛けて来たので、午後から雨になり、登録会終了後雨が止むまで時間をつぶすと映画館などのあるエリアに向かいました。

若いつて良いなと思った瞬間でした。(仲田)



説明員 仲田、山本



説明員 27日 尾木、西島(一)  
28日 溝口、松田

ユニモちはら台店 10月27日(土)、28日(日)

本会場の登録会は、いろいろな年齢の方が献血に訪れ、日赤さんの登録会の声掛けも、熱心で、比較的多くの方に登録して頂いております。お子様づれの方も多く、にぎやかな感じの会場になりました。

また、登録を躊躇する理由ですが、男性の方は、4日間も勤務を休みにくいと言う方も何人かいらっしゃいました。また女性では、子供が小さいのでちょっと無理だと言う理由が多い様でした。その気持ちを有りがたく受け止めておりますが、安心して登録出来る制度が出来ればとも思っております。(溝口)

川村学園女子大学 10月30日(火)、31日(水)

大学は、郊外の静かな環境にあり勉強するには本当に素晴らしく恵まれた所だと思えました。

学生の流れは、授業が終わるとドーンと外に出てきて、授業が始まるとピタッと止まってしまう、を繰り返しました。その都度、日赤さんで用意されたハロウィンのグッズを飾り付けたり、帽子をかぶったりして、関心を引きました。

日赤さんの積極的なお声掛けにより、2日間とも気持ちよく仕事ことができました。

30日は、昼前から曇り空になり寒く感じられた1日でした。

31日は、突然のわか雨で、雨よけ作業に追われましたが、雨が上がった後に虹が架かり気持ちが少し慰められました。また、説明中の地震にひやりとした場面もありました。(仲田)



説明員 30日 尾木、仲田  
31日 尾木、高橋、仲田

### 10月(10月号報告以降)～12月のドナー登録者集計

月	日	会場名	登録者数	説明受講
10	12	ソニーイーエムシーエス	5	4
	13	野田市産業祭	5	5
	14	イオンモール 千葉ニュータウン	9	5
	15	千葉市役所	1	0
	27、 28	ユニモちはら台	16	9

月	日	会場名	登録者数	説明受講
	28	JFEちばまつり	0	2
	30	川村学園女子大学	6	2
	31	"	12	6
11	18	SBPIF	37	3
		合計	91	36

SBPIF ; スノーバンクペイイットフォワードの略

## 千葉県文化の日功労者表彰 11月3日(土)

11月3日の文化の日、当会副会長の小泉治彦さんが「平成24年度文化の日千葉県功労者表彰」を受賞しました。長年の県内での骨髓バンク支援活動が、千葉県に評価されたもので、大変嬉しく思います。またこの賞は、平成20年に会長の梅田が、平成22年に円東副会長が受賞し、当会では3人目になります。(梅田)

平成6年に千葉の会に入会して以来、当会の方々と一緒に地道に活動してきたことで、当会の活動が受賞したと感じています。

特に思い出に残っているのが、私の勤務する高校で文化祭企画として開催した「MAMOのメッセージ展」と「命のあさがおプレゼント」です。生徒達と一緒に来場者にあさがおの苗を手渡したことが、つい先日のことのように思い出されます。

また、当会のホームページは私が作成し、登録会などのイベントのたびに記事を掲載しています。今後もゆっくりと活動を継続していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。(小泉)



## イエローシートキャンペーン活動 11月11日(日)

南柏にあるイオン柏店にて、イエローシートキャンペーンに参加しました。毎月11日に発行される黄色いシートを、登録団体のボックスに投函してもらいます。私たち5人も揃いのキャップとたすきをして、レジを終えたお客様に声掛けをしました。

特に当会のPRはしませんでした。それでも当会のボックスは見る間にシートでいっぱいになりました。お客様のボランティア活動を支援する気持ちが直接伝わってきて、背筋がピンと伸びる気持ちになりました。寄贈される品物は、イベント等で有効に活用させて頂きたいと思っております。(小泉)



参加者

梅田、円東、小泉、柴谷、仲田



企画運営

荒井

啓発活動

梅田、円東、溝口、杉本(博)、遠山

登録会説明員

杉本(雅)、柴谷、西島、尾木、仲田

## SNOW BANK PAY IT FORWARD 2012 による活動

こんにちは。SBPIF 実行委員長の荒井 daze 善正です。

千葉の会の皆様、昨年に引き続き「SNOW BANK PAY IT FORWARD 2012」にご参加いただき誠にありがとうございました。おかげさまで昨年以上に盛り上がるイベントになりました。

今回は、骨髓移植で白血病を克服した久保田 GAZZ 誠さんと組んだ「DAZE BAND」でライブをしたり、オフィシャルカメラマンとして東京の会の鳥羽さんに写真を撮ってもらい骨髓移植患者でも元気になれる事を伝えてもらいました。

そして骨髓バンク関係者以外でも今回は「HAND SIGN」などの著名人にも協力してもらったことで多くの若者を集客する事が出来たと思います。

これからの骨髓バンクの普及啓発は押しつけるのではなく若者の方から求めて来る様な魅力あるモノにして行かなければならないと思います。そして進んで若者の方から登録したいと思わせる普及啓蒙の方法が必要だと自分は考えます。

SBPIF を通じて若者の骨髓バンクへのイメージを変えて行けたらと思います。

寒い中の活動本当にありがとうございました。この感謝の気持ちは、皆様に「Pay back(返す)」するのではなく、未来の患者さんの為に「Pay it forward(前に進める)」して行きたいと考えています。

来年は、11月16・17日の2日開催を目指して動き始めております。来年も皆様のお力をお貸しいただけたら幸いです。

今後とも宜しくお願ひ致します。(荒井)

## 日本骨髄バンクの登録者数最新情報

(2012年11月末現在)

	全国(累計)	対前月増減数	千葉県(累計)	対前月増減数
ドナー登録者数	423,977	+ 2,102	13,297	+ 3
患者登録者数	37,344	+ 249	1,484	+ 11
移植例数	14,964	+ 121	475	+ 2

(数値は骨髄移植推進財団発表の月次統計から引用しています。)

### 会員紹介 ～石橋和記～

初めまして、石橋と申します。11月の定例会に参加させていただき、会員の皆さんの積極的な活動に驚かされています。

私は、バンクを通じた骨髄移植のお陰で元気になりました。私の経験がこの会の活動に少しでもお役に立てればと思入会しました。

めざましく進歩している医療のお陰で、血液疾患は不治の病から治る可能性のある疾患へ変わってきました。しかしながら、まだまだ骨髄移植に頼らなければ生きる事が出来ない患者さんが大勢います。骨髄移植に対する社会の理解が進み、今も移植を待ちわびている闘病中の患者さんが笑顔を取り戻し、元の生活に戻れることを願っています。

私は、自宅が東日本大震災の津波被害に遭い再建築中のため、仮住まいをしいられています。しばらくは、自宅の再建と併行活動になることから、出来る範囲でお手伝いをさせていただきます。

よろしくお祈りします。



心からのご寄付  
ありがとうございます。

小俣 和雄 様 5,000円  
スノーバンクへ イットフォワード 3,450円

### アラビアより愛をこめて

みなさんお元気ですか？

住居は、前回と同じサウジアラビアの紅海側に住んでいて、会社まで30kmを往復しています。

周辺は、砂漠と言うより土漠で枯れ木のような木々が点在しています。

1年に一度の慈雨が数日前に降ったからか、らくだの群れ30頭ほどが道路わきの木の若芽を食べていました。

らくだ使いが道路に入らないか、見張っていたがはたして効果は？

らくだは、保護動物なので、交通事故等で殺すと200万円も支払わなければならないとかで、自動車の方で避けてくれているらしいです。

それじゃあ、また。(西島隆史)



### 今後(1～3月)の予定(お知らせ)

#### 啓発活動

- 箱根東京間駅伝競走 往路 1月2日(水)  
復路 1月3日(木)

#### ドナー登録会

- 東金市役所 1月10日(木)
- 三井化学市原工場 1月22日(火)
- ジャパンプランツガーション 2月8日(金)  
～2月11日(月祝)

#### 定例会予定

日時 2月3日(日)、3月3日(日)14時～  
場所 船橋FACE5階  
ボランティアルーム

### ★★★★★★★★★★ 新聞記事より

エドワード・ドナル・トーマスさん

(世界初の骨髄移植を実施した米国のノーベル賞受賞者)

フレッド・ハッチンソンがん研究センターによると、10月20日、心不全のため、シアトル市内の病院で死去、92歳。

1960年代後半に白血病患者に対して骨髄移植を実施、70年代に手法を確立した。その功績で90年にノーベル医学生理学賞を受賞した。

★★★★★★★★★★

<編集者のひとりごと>

今秋より編集長が海外に、どうしよう？

と言うことで、紙面構成が変更になってしまいましたが、千葉の会員皆さんで協力しながら作成しています。